

大名町教会 信徒の皆様へ

以下の徹底を

共に主のみことばを味わい、主の食卓を囲める喜びに感謝。

アベイヤ司教様は、『福岡教区』の公開ミサ再開を以下のように決定されました。

1. 6月1日(月)から公開ミサ再開。
2. 6月1日から、教会活動も必要な注意点を守りながら、少しずつ再開。どのような活動を、どのように再開するかは、各小教区の主任司祭の判断に委ねる。(使用後、責任をもって必ず消毒液で拭き取り清掃を)
3. 公開ミサ再開について、徹底すべき以下の事項の確認。
 - ① 体調不良の場合、信者はミサ参加自粛を。この場合、ミサ参加の義務は免除となる。
 - ② 司祭に熱や咳の症状があれば、ミサ司式を控え、緊急のミサ中止となる。この場合も、信者の主日ミサ参加の義務は免除される。
 - ③ 3密(密閉・密集・密接)を回避する。
 - ▶ 聖堂での座席間隔と信徒間の関わりに注意。
 - ④ 全信者はアルコール消毒の徹底とマスク着用の義務。
 - ⑤ 聖堂の十分な換気。
 - ⑥ 聖堂入り口の聖水盤は使わない。
 - ⑦ 典礼
 - 聖歌は歌わない。
 - 奉納行列はしない。
 - 司祭用と信徒用のホスチアの容器の区別。
 - 司祭は、ミサ中に飛沫感染なきよう配慮する。
 - 聖体授与の前に、司祭と聖体奉仕者は手のアルコール消毒をする。
 - 信徒は、聖体を必ず手で受ける。(手を司祭の方に伸ばす)
 - ⑧ ミサ後の茶話会、飲食は禁止。
4. ミサへの参加の仕方は各小教区で工夫を。例えば、
 - ① 参加者が多い場合、ミサの回数を増やしたり、参加信徒の地域を決めてミサを捧げる…等の工夫を。
 - ② ①が難しい場合、日曜日ごとに地域を決めて、信徒は隔週ごとに交代でミサに参加する…等の工夫を。
 - ③ 各小教区間での協力の工夫を。

アベイヤ司教様の呼びかけを受け、裏面の『大名町教会』の取り組み確認。

大名町教会は小教区のミサ参加者数が多いため、特に9時半ミサに信徒が集中しないよう、教区からの呼びかけに加えて、以下のことを徹底する。

1. 主日・平日のすべてのミサを、大聖堂で捧げる。主日は小聖堂・3F、必要に応じて1Fホールも開放する。
2. 主日の日本語ミサの回数を1回増やし、以下の時間帯で捧げる。各ミサでの3密を避けるため、信徒のミサ参加を原則A～D(4地区)ごとに分ける。そして1週ごとに、参加地区のミサ時間を順送りする。

ミサ時間	土曜日	19時	地区	A (中央区/博多区)
		8時		B (東区/城南区/新宮町/粕屋町)
	日曜日	9時半		C (西区/早良区/篠栗町)
		11時		D (南区/古賀市/大野城市/春日市/太宰府市/糸島市/筑紫野市/宗像市)

☞ 6月6日(土)より開始。ミサ時間の変更とミサ参加地区の確認を

第1日曜	(6/6)	土曜	19時	A (中央区/博多区)
			8時	B (東区/城南区/新宮町/粕屋町)
	6月7日	日曜	9時半	C (西区/早良区/篠栗町)
			11時	D (南区/古賀市/大野城市/春日市/太宰府市/糸島市/筑紫野市/宗像市)



↓ 地区のミサ時間が1週ごと順送り

第2日曜	(6/13)	土曜	19時	D (南区/古賀市/大野城市/春日市/太宰府市/糸島市/筑紫野市/宗像市)
			8時	A (中央区/博多区)
	6月14日	日曜	9時半	B (東区/城南区/新宮町/粕屋町)
			11時	C (西区/早良区/篠栗町)

▶ 毎週のお知らせを通して、各地区のミサ時間の確認を。

3. 英語ミサは必要な対策をとり、通常通り(16時)捧げる。
4. 信徒は教会に来る前に必ず自宅にて体温を計り、37度以上の場合は、ミサ参加を控える。安易な自己判断(自分は大丈夫)は禁物。
5. マスク着用なき場合、ミサ参加は不可。
6. 聖堂内では3密を避け、前後左右の座席の間隔を徹底する。必要なら教会スタッフが案内・指示を出す。
7. 聖体拝領時、司祭・聖体奉仕者・信徒は手指の消毒をし、信徒は前の人との間隔を2m開けて、聖体拝領に向かう。
8. 信徒はミサごとに毎回、自宅からポケットティッシュ1個と、携帯(プッシュ式)の消毒液(持っている方)をお持ちください。各ミサ終了時、信徒各人が自分の座席周辺を消毒液を使ってポケットティッシュで拭き取り清掃をし、拭き取ったティッシュをティッシュの元の袋に詰め、持ち帰る。
9. 各人、ミサに来られる時、筆記具持参を。もしクラスターが起こった時のため、追跡調査ができるよう、お知らせの添付用紙に《住所・氏名・連絡先》を記入し、ミサ後、所定のボックスに入れる。